



平成27年6月5日

各 位

大阪市北区曾根崎新地二丁目1番23号
株 式 会 社 ア イ ル
代 表 取 締 役 社 長 岩 本 哲 夫
(JASDAQ・コード3854)
問 い 合 せ 先 取 締 役 経 営 管 理 本 部 長 戸 田 泰 裕
電 話 番 号 06-4798-1170(代 表)
U R L <http://www.ill.co.jp>

業績予想の修正及び特別損失計上についてのお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成26年9月5日に公表いたしました平成27年7月期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成27年7月期連結業績予想数値の修正 (平成26年8月1日～平成27年7月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	7,800	700	718	450	72円18銭
今回修正予想(B)	7,012	310	330	121	19円45銭
増減額(B-A)	△787	△389	△387	△328	
増減率(%)	△10.1%	△55.6%	△53.9%	△73.0%	
(ご参考)前期実績 (平成26年7月期)	6,786	611	626	352	60円28銭

2. 修正の理由

(1) 通期業績予想の修正

連結業績予想としましては、主力のパッケージソフトウェアである「アラジンオフィス」、複数ネットショップ一元管理ソフトである「CROSS MALL」等の受注実績につきましては、順調に推移しております。

しかしながら当期は、当初計画より大型物件による受注が増加したことにより他の受注物件の納期が予定以上に伸び、更にマイナンバー制度導入による外部委託先でのSE不足によりシステムの制作期間が想定より長引いた為、来期以降の売上高となる見通しとなり、前回予想の売上高を下回る結果となりました。

また、当初の計画の通り継続して「アラジンオフィス」、「CROSS MALL」および「CROSS POINT」等の開発に注力しており、当社としましては、戦略上これらを成長投資の一環として重視し、積極的な人員強化を行いました。しかし、これらの開発に掛かる開発費用についても、マイナンバー制度導入により業界全般的にSE不足による開発単価の上昇や人員増加による人件費等が当初の計画を上回る結果となった為、営業利益以降についても当初の計画を下回る見通しとなりました。

これら開発費用については、次期以降の売上高に寄与するものと考えております。

(2) 大阪本社移転に伴う特別損失の計上

本日公表いたしました「大阪本社移転のお知らせ」のとおり、大阪本社の移転を決定いたしました。大阪本社の移転に伴い、本社移転損失引当金78百万円を特別損失として平成27年7月期第3四半期決算にて計上いたしました。

上記の結果、平成27年7月期連結会計期間の業績予想につきましては、前回予想に比べ、売上高が7,012百万円、営業利益が310百万円、経常利益が330百万円、当期純利益が121百万円と業績修正することとなりました。

3. 期末配当について

期末配当金につきましては、当初公表通り1株につき15円を予定しており変更ありません。

※ 上記の予想は現時点での入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上